

# 府立勤労者福祉会館あり方検討委員会第1回会議

- 1 日 時 令和3年8月23日（月）13:30～15:00
- 2 場 所 WEB 会議
- 3 出席者 真山会長、上田委員、滋野委員、瀧田委員、長谷川委員、原委員、水野委員、山本委員（以上8名）
- 4 概 要
  - ・ 勤労者福祉会館の現状と課題についての認識を共有した。
  - ・ 今後のあり方検討の進め方について確認した。
- 5 委員からの主な意見
  - ・ 指定管理者と京都府の責任分担をはっきりさせること、また、建物本体（固定資産そのもの）か付属設備なのかを区別した上で、会館の老朽化を判断すべき。
  - ・ 利用者の属性を見る上で、各利用者の定義や判断基準等を明確にすべき。
  - ・ 利用者の圏域と利用する目的（会議、スポーツ、文化活動等）の2つの視点がかギになってくる。
  - ・ 利用者の予約方法等情報へのアクセスについても、検討課題に上げることが望ましい。
  - ・ 地元市町の意向も踏まえて、慎重に検討を行う必要がある。